

非ホジキンリンパ腫 DA-EPOCH 導入

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 21日間

目標: 4~8コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Do	HEIGHT01_Dc	#VALUE!

アルコールアレルギー
※必ず無しを確認

使用薬剤: エトポシド (VP-16) : エトポシド点滴静注液 100mg/V/5mL
 ドキソルビシン (ADM) : ドキソルビシン塩酸塩注射用 10mg/V、50mg/V
 ビンクリスチン (VCR) : ビンクリスチン注 1mg/V
 シクロホスファミド (CPA) : シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V
 プレドニゾン (PSL) : 20mg/A、10mg/A

注意: ※ HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
 ※ ビンクリスチン 最大投与量; 2mg/bodyを越えないこと
 ※ プレドニン B型肝炎; 核酸アナログ製剤を併用、糖尿病; 減量もしくは中止
 ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること
 ※ G-CSFをDay6~nadir以降好中球数>5000/μLまで継続

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
エトポシド	50 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 4
ドキソルビシン	10 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 4
ビンクリスチン	0.4 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 4
シクロホスファミド	750 mg/m ²	#VALUE!		5
プレドニン	60 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day 1	1月1日 (火)	PICC① PICC②	0時00分	①	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + プレドニン 0mg	15分で点滴静注
			0時15分	②	生理食塩液 500mL + エトポシド 0mg 0.0ml + ドキソルビシン注 0mg + ビンクリスチン注 0.00mg	中心静脈ルートより輸液ポンプを使用し24時間
Day 2 ~ 4	1月2日 (水) ~ 1月4日 (金)	PICC① PICC②	0時00分	①	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + プレドニン 0mg	15分で点滴静注
			0時15分	②	生理食塩液 500mL + エトポシド 0mg 0.0ml + ドキソルビシン注 0mg + ビンクリスチン注 0.00mg	中心静脈ルートより輸液ポンプを使用し24時間
Day 5	1月5日 (土)	PICC① PICC②	0時15分	①	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + プレドニン 0mg	15分で点滴静注
			0時30分	②	生理食塩液 250mL + シクロホスファミド 0mg	30分で点滴静注
			1時00分	③	生理食塩液 50mL フラッシュ	

REFERENCE

Wyndham H. Wilson, Michael L. Grossbard, Stefania Pittaluga, et al BLOOD, 2002; 99: 2685-2693
 Dose-adjusted EPOCH chemotherapy for untreated large B-cell lymphomas: a pharmacodynamic approach with high efficacy
 Wyndham H. Wilson, George Bryant, Susan Bates, et al J Clin Oncol 11: 1573-1582, 1993
 EPOCH Chemotherapy: Toxicity and Efficacy in Relapsed and Refractory Non-Hodgkin's Lymphoma
 2011年化学療法プロトコル審査委員会承認: 2011年2月14日 更新: 2016年2月8日